

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 特 許 公 報 (B2)

(11) 特許番号  
特許第6352652号  
(P6352652)

(45) 発行日 平成30年7月4日 (2018.7.4)

(24) 登録日 平成30年6月15日 (2018.6.15)

(51) Int.Cl.

F I

B 4 2 D 11/00 (2006.01)

B 4 2 D 11/00 A

G O 6 K 19/00 (2006.01)

G O 6 K 19/00

G O 6 K 19/06 (2006.01)

G O 6 K 19/06 O 2 8

請求項の数 5 (全 25 頁)

(21) 出願番号	特願2014-43878 (P2014-43878)	(73) 特許権者	000110217
(22) 出願日	平成26年3月6日 (2014.3.6)		トッパン・フォームズ株式会社
(65) 公開番号	特開2014-237310 (P2014-237310A)		東京都港区東新橋一丁目7番3号
(43) 公開日	平成26年12月18日 (2014.12.18)	(74) 代理人	100123788
審査請求日	平成29年3月2日 (2017.3.2)		弁理士 宮崎 昭夫
(31) 優先権主張番号	特願2013-99196 (P2013-99196)	(74) 代理人	100127454
(32) 優先日	平成25年5月9日 (2013.5.9)		弁理士 緒方 雅昭
(33) 優先権主張国	日本国 (JP)	(72) 発明者	相澤 紀史
			東京都港区東新橋一丁目7番3号 トッパ ン・フォームズ株式会社内
		審査官	藤井 達也

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 サービス提供用シート

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項 1】

第1のシート部と第2のシート部とが折り部を介して接続してなるサービス提供用シートであって、

前記第1のシート部は、前記サービス提供用シートが前記折り部を中心として二つ折りされた状態にて内側となる面に、互いに対応づけられた第1及び第2のコードが表示され

、  
前記第2のシート部は、前記二つ折りされた状態にて前記第1のコードを視認不可能とするとともに前記第2のコードを視認可能とする形状を有するサービス提供用シート。

【請求項 2】

請求項1に記載のサービス提供用シートにおいて、

前記第2のシート部は、前記第1のシート部との接続方向の長さが前記第1のシート部よりも短く、

前記第1のシート部は、前記二つ折りされた状態にて前記第2のシート部に重なる領域に前記第1のコードが表示されるとともに前記第2のシート部に重ならない領域に前記第2のコードが表示されているサービス提供用シート。

【請求項 3】

請求項1に記載のサービス提供用シートにおいて、

前記第2のシート部は、前記二つ折りされた状態にて前記第2のコードと対向する領域に孔部を有するサービス提供用シート。

**【請求項 4】**

請求項 3 に記載のサービス提供用シートにおいて、

前記第 1 のシート部は、前記第 1 のコードが前記第 2 のコードよりも前記第 2 のシート部との接続辺側に表示され、

前記第 2 のシート部は、前記二つ折りされた状態にて前記孔部の周囲の第 1 の領域が前記第 1 のシート部に対して剥離困難に貼着されるとともに前記第 1 のコードに対向する第 2 の領域が前記第 1 のシート部に対して剥離可能に貼着され、前記第 1 の領域と前記第 2 の領域とがミシン目によって切り離し可能に構成されているサービス提供用シート。

**【請求項 5】**

請求項 3 に記載のサービス提供用シートにおいて、

前記第 1 のシート部は、前記第 1 及び第 2 のコードが表示されたカード部が分離可能に区画形成され、

前記第 2 のシート部は、少なくとも前記カード部に対向する領域以外の領域が前記第 1 のシート部に貼着されているサービス提供用シート。

**【発明の詳細な説明】****【技術分野】****【0001】**

本発明は、コンピュータネットワーク上の電子店舗にて提供されるサービスの利用代金を、プリペイド方式にて決済するシステムに用いられる、サービス提供用シートに関する。

**【背景技術】****【0002】**

近年、コンピュータネットワーク上の電子店舗における買物を、プリペイドカードを用いて利用可能とするシステムが実用化されており、例えば、特許文献 1 に開示されている。このようなシステムにおいては、プリペイドカードに ID 及びこれに対応づけられた POS コードが表示されており、プリペイドカードが購入される際、プリペイドカードに表示された POS コードが POS レジにて読み取られることによってプリペイドカードが使用可能な状態となる。その後、プリペイドカードを購入した利用者は、プリペイドカードに表示された ID を用いて、電子店舗にて買物を行うことになる。

**【0003】**

ここで、上述したようなプリペイドカードを用いたシステムにおいては、ID の不正使用が懸念される。そこで、不正使用を防止するために、プリペイドカードに表示された PIN コード上にスクラッチ層を設ける技術が考えられており、例えば、特許文献 2 に開示されている。この技術を用いれば、プリペイドカードが購入される前の状態においては、PIN コードが隠蔽されていることにより、PIN コードを用いた不正使用されることが回避される。

**【0004】**

ところで、上述したプリペイドカードは、実店舗にて販売される際、台紙に分離可能に一体化して保持されることが好ましい。ここで、台紙上にカードを剥離可能に貼着し、この台紙にカード番号を表示する技術が、例えば、特許文献 3 に開示されている。この技術を用いれば、カードに対応する情報が表示された台紙にカードを分離可能に保持することができる。

**【先行技術文献】****【特許文献】****【0005】**

【特許文献 1】特開平 11 - 203560 号公報

【特許文献 2】特表 2010 - 531021 号公報

【特許文献 3】特開平 11 - 110494 号公報

**【発明の概要】****【発明が解決しようとする課題】**

## 【 0 0 0 6 】

しかしながら、特許文献 3 に開示されたもののように、カードに対応する情報が表示された台紙に、カードが剥離可能に貼着された状態では、カードに表示された P I N コード等の識別コードが隠蔽されておらず、識別コードを隠蔽するためには、特許文献 2 に開示されたもののように識別コード上にスクラッチ層を設けるか、あるいは、カードの台紙との貼着面に識別コードを表示する必要があるが、カードに表示される識別コードと、台紙に表示されるこれに対応するコードとを別々に印刷した場合、これらのコードのマッチングミスが生じる虞れがある。

## 【 0 0 0 7 】

本発明は、上述したような従来の技術が有する問題点に鑑みてなされたものであって、互いに対応づけられた第 1 及び第 2 のシートが表示されてなるサービス提供用シートにおいて、使用前の状態において第 1 のコードを視認不可能としながらも第 2 のコードを視認可能な状態とすることができるとともに、第 1 のコードと第 2 のコードとのマッチングミスを回避することができるサービス提供用シートを提供することを目的とする。

## 【課題を解決するための手段】

## 【 0 0 0 8 】

上記目的を達成するために本発明は、

第 1 のシート部と第 2 のシート部とが折り部を介して接続してなるサービス提供用シートであって、

前記第 1 のシート部は、前記サービス提供用シートが前記折り部を中心として二つ折りされた状態にて内側となる面に、互いに対応づけられた第 1 及び第 2 のコードが表示され、

前記第 2 のシート部は、前記二つ折りされた状態にて前記第 1 のコードを視認不可能とするとともに前記第 2 のコードを視認可能とする形状を有する。

## 【 0 0 0 9 】

上記のように構成された本発明においては、第 1 のシート部と第 2 のシート部とが折り畳まれた状態では、第 2 のシート部によって、第 1 のシート部に表示された第 1 及び第 2 のコードのうち第 1 のコードが視認不可能となるとともに、第 2 のコードが視認可能となっている。その後、第 1 のシート部と第 2 のシート部とが見開かれたり、第 1 のシート部の第 1 のコードが表示された領域が第 1 のシート部から分離したりすることにより、第 1 のコードが視認可能な状態となる。ここで、第 1 のコードと第 2 のコードとは、共に第 1 のシート部の折り畳み状態内側となる面に表示されているため、これらを同時に印字することができ、マッチングミスが回避される。

## 【 0 0 1 0 】

このような構成としては、例えば、

前記第 2 のシート部が、前記第 1 のシート部との接続方向の長さが前記第 1 のシート部よりも短く、

前記第 1 のシート部が、前記二つ折りされた状態にて前記第 2 のシート部に重なる領域に前記第 1 のコードが表示されるとともに前記第 2 のシート部に重ならない領域に前記第 2 のコードが表示されている構成とすることや、

前記第 2 のシート部が、前記二つ折りされた状態にて前記第 2 のコードと対向する領域に孔部を有する構成とすることが考えられる。

## 【 0 0 1 1 】

また、前記第 1 のシート部が、前記第 1 のコードが前記第 2 のコードよりも前記第 2 のシート部との接続辺側に表示され、

前記第 2 のシート部が、前記二つ折りされた状態にて前記孔部の周囲の第 1 の領域が前記第 1 のシート部に対して剥離困難に貼着されるとともに前記第 1 のコードに対向する第 2 の領域が前記第 1 のシート部に対して剥離可能に貼着され、前記第 1 の領域と前記第 2 の領域とがミシン目によって切り離し可能に構成されていれば、第 1 のコードを視認するためにはミシン目を破断する必要があり、それにより、第 1 のコードを不正に視認した場

合にその痕跡が残ることになる。

【 0 0 1 2 】

また、前記第 1 のシート部が、前記第 1 及び第 2 のコードが表示されたカード部が分離可能に区画形成され、

前記第 2 のシート部が、少なくとも前記カード部に対向する領域以外の領域が前記第 1 のシート部に貼着されている構成とし、第 1 及び第 2 のコードが表示されたカードとして使用してもよい。

【 発明の効果 】

【 0 0 1 5 】

本発明によれば、第 1 のシート部と第 2 のシート部とが折り畳まれた使用前の状態では、第 2 のシート部によって、第 1 のシート部に表示された第 1 及び第 2 のコードのうち第 1 のコードが視認不可能となるとともに、第 2 のコードが視認可能となっており、その後、サービス提供用シートを使用する際に、第 1 のシート部と第 2 のシート部とが見開かれたり、第 1 のシート部の第 1 のコードが表示された領域が第 1 のシート部から分離したりすることにより、第 1 のコードが視認可能な状態となるため、使用前の状態において第 1 のコードを視認不可能としながらも第 2 のコードを視認可能な状態とすることができ、また、第 1 のコードと第 2 のコードとが、共に第 1 のシート部の折り畳み状態内側となる面に表示されていることにより、これらを同時に印字することができ、第 1 のコードと第 2 のコードとのマッチングミス回避することができる。

【 0 0 1 6 】

また、第 2 のシート部が、折り畳み状態にて第 2 のコードと対向する領域に孔部を有する構成において、第 1 のコードが第 2 のコードよりも第 2 のシート部との接続辺側に表示され、第 2 のシート部が、折り畳み状態にて孔部の周囲の第 1 の領域が第 1 のシート部に対して剥離困難に貼着されるとともに第 1 のコードに対向する第 2 の領域が第 1 のシート部に対して剥離可能に貼着され、第 1 の領域と第 2 の領域とがミシン目によって切り離し可能となった構成を有するものにおいては、第 1 のコードを視認するためにはミシン目を破断する必要があり、それにより、第 1 のコードを不正に視認した場合にその痕跡を残すことができる。

【 図面の簡単な説明 】

【 0 0 1 8 】

【 図 1 】本発明のサービス提供用シートの第 1 の実施の形態を示す図であり、( a ) は見開いた状態の表面図、( b ) は見開いた状態の裏面図、( c ) は折り畳んだ状態の表面図、( d ) は( c ) に示した A - A ' 断面図である。

【 図 2 】図 1 に示したサービス提供用シートが使用される環境を示す図である。

【 図 3 】図 2 に示した環境における図 1 に示したサービス提供用シートの使用方法を説明するためのフローチャートである。

【 図 4 】図 1 に示したサービス提供用シートの使用状態を示す図である。

【 図 5 】本発明のサービス提供用シートの第 2 の実施の形態を示す図であり、( a ) は見開いた状態の表面図、( b ) は見開いた状態の裏面図、( c ) は折り畳んだ状態の表面図、( d ) は( c ) に示した A - A ' 断面図である。

【 図 6 】図 5 に示したサービス提供用シートの使用状態を示す図である。

【 図 7 】本発明のサービス提供用シートの第 3 の実施の形態を示す図であり、( a ) は見開いた状態の表面図、( b ) は見開いた状態の裏面図、( c ) は折り畳んだ状態の表面図、( d ) は折り畳んだ状態の裏面図、( e ) は( d ) に示した A - A ' 断面図である。

【 図 8 】図 7 に示したサービス提供用シートの使用状態を示す図である。

【 図 9 】本発明のサービス提供用シートの第 4 の実施の形態を示す図であり、( a ) は見開いた状態の表面図、( b ) は見開いた状態の裏面図、( c ) は折り畳んだ状態の表面図、( d ) は折り畳んだ状態の裏面図、( e ) は( d ) に示した A - A ' 断面図である。

【 図 10 】本発明のサービス提供用シートの第 5 の実施の形態を示す図であり、( a ) は全体を見開いた状態の表面図、( b ) は全体を見開いた状態の裏面図、( c ) は( a ) ,

10

20

30

40

50

(b) に示した第 1 のシート部を折り畳んだ状態の表面図、(d) は(a), (b) に示した第 1 のシート部を折り畳んだ状態の裏面図、(e) は(d) に示した A - A' 断面図、(f) は全体を折り畳んだ状態の表面図、(g) は全体を折り畳んだ状態の裏面図、(h) は(g) に示した B - B' 断面図である。

【図 1 1】本発明のサービス提供用シートの第 6 の実施の形態を示す図であり、(a) は全体を見開いた状態の表面図、(b) は全体を見開いた状態の裏面図、(c) は(a), (b) に示した第 1 のシート部を折り畳んだ状態の表面図、(d) は(a), (b) に示した第 1 のシート部を折り畳んだ状態の裏面図、(e) は(d) に示した A - A' 断面図、(f) は全体を折り畳んだ状態の表面図、(g) は全体を折り畳んだ状態の裏面図、(h) は(g) に示した B - B' 断面図である。

10

【図 1 2】図 1 1 に示したサービス提供用シートの使用状態を示す図である。

【図 1 3】本発明のサービス提供用シートの第 7 の実施の形態を示す図であり、(a) は表面図、(b) は裏面図、(c) は(b) に示した A - A' 断面図、(d) は(b) に示した B - B' 断面図、(e) は裏面側から見た斜視図である。

【図 1 4】図 1 3 に示したサービス提供用シートの分解図であり、(a) は上紙の表面図、(b) は上紙の裏面図、(c) は下紙の表面図、(d) は下紙の裏面図、(e) は裏台紙の表面図、(f) は裏台紙の裏面図である。

【図 1 5】図 1 3 及び図 1 4 に示したサービス提供用シートの製造方法を説明するための図である。

【図 1 6】図 1 3 及び図 1 4 に示したサービス提供用シートの使用状態を示す図である。

20

【図 1 7】本発明のサービス提供用シートの第 8 の実施の形態を示す図であり、(a) は表面図、(b) は裏面図、(c) は(b) に示した A - A' 断面図、(d) は(b) に示した B - B' 断面図、(e) は裏面側から見た斜視図である。

【図 1 8】図 1 7 に示したサービス提供用シートの分解図であり、(a) は上紙の表面図、(b) は上紙の裏面図、(c) は下紙の表面図、(d) は下紙の裏面図、(e) は裏台紙の表面図、(f) は裏台紙の裏面図である。

【図 1 9】図 1 7 及び図 1 8 に示したサービス提供用シートの使用状態を示す図である。

【図 2 0】本発明のサービス提供用シートの第 9 の実施の形態を示す図であり、(a) は表面図、(b) は裏面図、(c) は(b) に示した A - A' 断面図、(d) は(b) に示した B - B' 断面図、(e) は裏面側から見た斜視図である。

30

【図 2 1】図 2 0 に示したサービス提供用シートの分解図であり、(a) は上紙の表面図、(b) は上紙の裏面図、(c) は下紙の表面図、(d) は下紙の裏面図、(e) は裏台紙の表面図、(f) は裏台紙の裏面図である。

【図 2 2】図 2 0 及び図 2 1 に示したサービス提供用シートの使用状態を示す図である。

【発明を実施するための形態】

【0019】

以下に、本発明の実施の形態について図面を参照して説明する。

【0020】

(第 1 の実施の形態)

図 1 は、本発明のサービス提供用シートの第 1 の実施の形態を示す図であり、(a) は見開いた状態の表面図、(b) は見開いた状態の裏面図、(c) は折り畳んだ状態の表面図、(d) は(c) に示した A - A' 断面図である。

40

【0021】

本形態のサービス提供用シート 1 は図 1 に示すように、第 1 のシート部 10 と第 2 のシート部 20 とが接続辺となる折り部 30 を介して折り畳み可能に接続して構成されている。

【0022】

シート部 10 には、折り部 30 とは反対側の端辺に沿う領域に表裏貫通した孔部 13 が形成されている、また、シート部 10 の表面には、第 1 のコードとなる PIN コード 11 と第 2 のコードとなる POS コード 12 とが、PIN コード 11 が折り部 30 側となるよ

50

うに表示されている。これら P I Nコード 1 1 と P O Sコード 1 2 とは、後述するが互いに対応づけられたものとなっている。

【 0 0 2 3 】

シート部 2 0 は、シート部 1 0 との接続方向の長さがシート部 1 0 よりも短くなっており、1つの角部に切り欠き 2 1 が形成されている。また、シート部 2 0 の裏面には、サービス提供用シート 1 が折り畳まれてシート部 1 0 , 2 0 が貼着された後にシート部 1 0 , 2 0 を剥離する際に切り欠き 2 1 を剥離開始端とする旨を指示する指示情報 2 2 が表示されている。

【 0 0 2 4 】

このように構成されたシート部 1 0 , 2 0 は、その表面が内側となるように折り部 3 0 10  
にて折り畳まれ、擬似接着剤 4 1 によって剥離可能に貼着される。擬似接着剤 4 1 は、シート部 1 0 の表面のうち少なくとも折り畳み状態にてシート部 2 0 と対向する領域と、シート部 2 0 の表面のそれぞれに塗布されており、P I Nコード 1 1 や P O Sコード 1 2 を含む情報が印刷される前に塗布されてもよいし、情報が印刷された後に塗布されてもよい。また、シート部 2 0 のシート部 1 0 との接続方向の長さがシート部 1 0 よりも短くなっているとともに、P I Nコード 1 1 と P O Sコード 1 2 とが P I Nコード 1 1 が折り部 3 0 側となるように表示されていることから、折り畳み状態においては、P I Nコード 1 1 がシート部 2 0 に覆われて視認不可能な状態となるとともに、P O Sコード 1 2 がシート部 2 0 に覆われずに視認可能な状態となる。すなわち、P I Nコード 1 1 は、サービス提供用シート 1 が折り畳まれた状態にてシート部 2 0 に重なる領域に表示され、P O Sコード 1 2 は、サービス提供用シート 1 が折り畳まれた状態にてシート部 2 0 に重ならない領域に表示されている。 20

【 0 0 2 5 】

以下に、上記のように構成されたサービス提供用シート 1 の使用方法について説明する。

【 0 0 2 6 】

図 2 は、図 1 に示したサービス提供用シート 1 が使用される環境を示す図であり、図 3 は、図 2 に示した環境における図 1 に示したサービス提供用シート 1 の使用方法を説明するためのフローチャートである。

【 0 0 2 7 】

図 1 に示したサービス提供用シート 1 は、図 2 に示すように、サービス提供用シート 1 を用いてサービスを提供するサービス提供サーバ 7 2 と、通信回線 7 4 を介してサービス提供サーバ 7 2 と接続可能な P O S 端末 7 1 及び携帯端末 7 3 とを有してなる環境で使用される。 30

【 0 0 2 8 】

まず、利用者がサービス提供用シート 1 を購入する際、その店舗に設置された P O S 端末 7 1 において P O Sコード 1 2 が読み取られる(ステップ 1)。サービス提供用シート 1 は、図 1 (c) に示したような折り畳まれた形態で販売されるが、P O Sコード 1 2 は、上述したように、サービス提供用シート 1 が折り畳まれた状態でもシート部 2 0 に覆われずに視認可能となっているため、P O S 端末 7 1 にて読み取ることができる。また、サービス提供用シート 1 が折り畳まれた状態においては、P I Nコード 1 1 はシート部 2 0 に覆われて視認不可能となっている。なお、サービス提供用シート 1 は、表裏貫通した孔部 1 3 を用いて吊り下げられる等して店舗に陳列されている。 40

【 0 0 2 9 】

サービス提供用シート 1 から読み取られた P O Sコード 1 2 は、P O S 端末 7 1 から送信され(ステップ 2)、通信回線 7 4 を介してサービス提供サーバ 7 2 にて受信される(ステップ 3)。

【 0 0 3 0 】

サービス提供サーバ 7 2 においては、販売されているサービス提供用シート 1 のシート部 1 0 に表示された P I Nコード 1 1 と P O Sコード 1 2 とがサービス提供用シート 1 毎 50

に対応づけて管理されており、P O Sコード12が受信されると、受信したP O Sコード12について、サービスを利用可能であることを示す利用可能フラグが“1”に設定され、O N状態となる(ステップ4)。

【0031】

その後、サービス提供用シート1を購入した利用者によって、携帯端末73がサービス提供サーバ72にアクセスした状態において、サービス提供用シート1のシート部10に表示されたP I Nコード11が携帯端末73に入力されて送信されると(ステップ5)、このP I Nコード11が通信回線74を介してサービス提供サーバ72にて受信される(ステップ6)。

【0032】

図4は、図1に示したサービス提供用シート1の使用状態を示す図である。

【0033】

図1に示したサービス提供用シート1においては、利用者が店舗にて購入した際は、図4(a)に示すように、P I Nコード11がシート部20に覆われて視認不可能な状態となっているとともに、P O Sコード12がシート部20に覆われずに視認可能な状態となっている。

【0034】

サービス提供用シート1が購入された後、図4(b)に示すように、利用者によってシート部10からシート部20が剥離されていく。シート部10, 20は擬似接着剤41によって互いに剥離可能に貼着されているため、サービス提供用シート1を購入した利用者が剥離することができる。この際、利用者は、シート部20に表示された指示情報22に従って、切り欠き21を剥離開始端としてシート部20をシート部10から剥離していくことになる。

【0035】

このようにしてシート部10とシート部20とが剥離されてサービス提供用シート1が見開かれると、図4(c)に示すように、シート部10に表示されたP I Nコード11が視認可能な状態となり、利用者はこのP I Nコード11を携帯端末73に入力することになる。

【0036】

サービス提供サーバ72においては、携帯端末73から送信されてきたP I Nコード11が受信されると、まず、P I Nコード11に対応づけられたP O Sコードが検索される(ステップ7)。サービス提供サーバ72においては、上述したように、販売されているサービス提供用シート1毎に、シート部10に表示されたP I Nコード11とP O Sコード12とが対応づけて管理されているため、受信したP I Nコード11に対応づけられたP O Sコードを検索することができる。

【0037】

そして、検索されたP O Sコードについての利用可能フラグが“1”に設定されてO N状態となっているかが確認される(ステップ8)。サービス提供用シート1が購入されると、上述したようにそのサービス提供用シート1のシート部10に表示されたP O Sコード12がP O S端末71にて読み取られ、サービス提供サーバ72にてそのP O Sコード12についての利用可能フラグが“1”に設定されてO N状態となるため、検索されたP O Sコードについての利用可能フラグが“1”に設定されてO N状態となっている場合は、サービス提供用シート1が正規に購入されたものであることとなり、サービス提供サーバ72から携帯端末73にサービスが提供され(ステップ9)、利用者は携帯端末73においてサービスを利用することになる(ステップ10)。

【0038】

また、検索されたP O Sコードについての利用可能フラグが“1”に設定されておらずにO N状態となっていない場合は、サービス提供用シート1が正規に購入されたものではないため、サービスを利用不可能である旨のメッセージがサービス提供サーバ72から送信される(ステップ11)。

10

20

30

40

50

## 【 0 0 3 9 】

サービス提供サーバ 7 2 から送信された、サービスを利用不可能である旨のメッセージは通信回線 7 4 を介して携帯端末 7 3 にて受信され、表示出力される（ステップ 1 2）。

## 【 0 0 4 0 】

上述したように、サービス提供用シート 1 を使用可能とする P O S コード 1 2 と、サービス提供用シート 1 を用いて実際にサービスを利用する際に指定される P I N コード 1 1 とが、共にシート部 1 0 に表示されることにより、P O S コード 1 2 と P I N コード 1 1 とを同時に印字することができ、これらのマッチングミス回避することができる。また、このような構成においても、サービス提供用シート 1 の使用前の状態においては、P O S コード 1 2 を視認可能な状態とし、P I N コード 1 1 を視認不可能な状態とすることができる。

10

## 【 0 0 4 1 】

なお、上述した一連の手順はサービス提供用シート 1 を利用する環境の一例であり、サービス提供用シート 1 を利用する環境はこれに限定されるものではない。

## 【 0 0 4 2 】

（第 2 の実施の形態）

図 5 は、本発明のサービス提供用シートの第 2 の実施の形態を示す図であり、（a）は見開いた状態の表面図、（b）は見開いた状態の裏面図、（c）は折り畳んだ状態の表面図、（d）は（c）に示した A - A ' 断面図である。

## 【 0 0 4 3 】

本形態のサービス提供用シート 1 0 1 は図 5 に示すように、第 1 の実施の形態に示したものに対して、第 2 のシート部 1 2 0 が、第 1 のシート部 1 1 0 との接続方向に接続した第 2 の領域となる被覆部 1 2 3 と被覆部 1 2 4 とからなる点が異なるものである。なお、本形態のサービス提供用シート 1 0 1 においても、シート部 1 2 0 が 2 つの被覆部 1 2 3 , 1 2 4 が接続して構成されているものの、シート部 1 2 0 のシート部 1 1 0 との接続方向の長さがシート部 1 1 0 よりも短くなっている。

20

## 【 0 0 4 4 】

シート部 1 2 0 は、2 つの被覆部 1 2 3 , 1 2 4 が、被覆部 1 2 3 が折り部 1 3 0 側となるようにミシン目であるマイクロミシン 1 2 5 によって切り離し可能に接続しており、被覆部 1 2 4 には表裏貫通した孔部 1 2 6 が形成されている。

30

## 【 0 0 4 5 】

このように構成されたシート部 1 1 0 , 1 2 0 は、その表面が内側となるように折り部 1 3 0 にて折り畳まれ、シート部 1 1 0 と被覆片 1 2 3 とが擬似接着剤 1 4 1 によって剥離可能に貼着され、シート部 1 1 0 と被覆片 1 2 4 とは、第 1 の領域となる、孔部 1 2 6 の周囲にて粘着剤 1 4 2 によって貼着後の剥離が困難に貼着される。なお、貼着後の剥離困難とは、シート部 1 1 0 と被覆片 1 2 4 とを人間の手によって剥離した場合に、シート部 1 1 0 と被覆片 1 2 4 自体が裂かれたり厚み方向に分割されたりする程度に強接着されていることである。また、折り畳み状態においては、P I N コード 1 1 1 が被覆部 1 2 3 に覆われて視認不可能な状態となる。また、P O S コード 1 1 2 は、折り畳み状態において被覆部 1 2 4 に重なる領域に表示されているものの、孔部 1 2 6 が折り畳み状態にて P O S コード 1 1 2 に対向する領域に形成されており、それにより、視認可能な状態となる。

40

## 【 0 0 4 6 】

上記のように構成されたサービス提供用シート 1 0 1 においても、第 1 の実施の形態にて示したものと同様の環境下で同様にして使用されることになる。

## 【 0 0 4 7 】

図 6 は、図 5 に示したサービス提供用シート 1 0 1 の使用状態を示す図である。

## 【 0 0 4 8 】

図 5 に示したサービス提供用シート 1 0 1 においては、利用者が店舗にて購入した際は、図 6（a）に示すように、P I N コード 1 1 1 が被覆部 1 2 3 に覆われて視認不可能な

50



状態となっており、同時に、POSコード112が被覆部124に形成された孔部126を介して視認可能な状態となっている。

【0049】

サービス提供用シート101が購入された後、図6(b)に示すように、利用者によってマイクロミシン125が破断されてシート部110から被覆部123が剥離されていく。シート部110と被覆部123とは擬似接着剤141によって剥離可能に貼着されているため、サービス提供用シート101を購入した利用者が剥離することができる。この際、利用者は、被覆部123に表示された指示情報122に従って、切り欠き121を剥離開始端としてマイクロミシン125を破断しながら被覆部123をシート部110から剥離していくことになる。

10

【0050】

このようにして被覆部123がシート部110から剥離されてサービス提供用シート101が見開かれると、図6(c)に示すように、シート部110に表示されたPINコード111が視認可能な状態となり、利用者はこのPINコード111を携帯端末73に入力することになる。

【0051】

本形態においては、PINコード111を視認するためにはマイクロミシン125を破断する必要があり、それにより、PINコード111を不正に視認した場合にその痕跡を残すことができる。

【0052】

20

(第3の実施の形態)

図7は、本発明のサービス提供用シートの第3の実施の形態を示す図であり、(a)は見開いた状態の表面図、(b)は見開いた状態の裏面図、(c)は折り畳んだ状態の表面図、(d)は折り畳んだ状態の裏面図、(e)は(d)に示したA-A'断面図である。

【0053】

本形態のサービス提供用シート201は図7に示すように、第1のシート部210と第2のシート部220とが接続辺となる折り部230を介して折り畳み可能に接続して構成されている。

【0054】

シート部210には、マイクロミシン214によって、角部に丸みを帯びた略長方形の形状のカード部215が分離可能に区画形成されているとともに、折り部230とは反対側の端辺に沿う領域に表裏貫通した孔部213が形成されている。また、シート部210のカード部215となる領域の裏面には、第1のコードとなるPINコード211と第2のコードとなるPOSコード212とが、POSコード212が折り部230側となるように表示されている。これらPINコード211とPOSコード212とは、第1の実施の形態に示したものと互いに対応づけられたものとなっている。

30

【0055】

シート部220は、シート部210との接続方向の長さがシート部210よりも短くなっており、表裏貫通した孔部226が形成されている。

【0056】

40

このように構成されたシート部210、220は、その裏面が内側となるように折り部230にて折り畳まれ、擬似接着剤241によって剥離可能に貼着される。擬似接着剤241は、シート部210の裏面のうち少なくとも折り畳み状態にてシート部220と対向する領域と、シート部220の裏面のそれぞれに塗布されており、PINコード211やPOSコード212を含む情報が印刷される前に塗布されてもよいし、情報が印刷された後に塗布されてもよい。折り畳み状態においては、PINコード211がシート部220に覆われて視認不可能な状態となる。また、POSコード212は、折り畳み状態においてシート部220に重なる領域に表示されているものの、孔部226が折り畳み状態にてPOSコード212に対向する領域に形成されており、それにより、視認可能な状態となる。

50

## 【 0 0 5 7 】

上記のように構成されたサービス提供用シート 2 0 1 においても、第 1 の実施の形態にて示したものと同様の環境下で同様にして使用されることになる。

## 【 0 0 5 8 】

図 8 は、図 7 に示したサービス提供用シート 2 0 1 の使用状態を示す図である。

## 【 0 0 5 9 】

図 7 に示したサービス提供用シート 2 0 1 においては、利用者が店舗にて購入した際は、図 8 ( a ) に示すように、P I Nコード 2 1 1 がシート部 2 2 0 によって覆われて視認不可能な状態となっているとともに、P O Sコード 2 1 2 がシート部 2 2 0 に形成された孔部 2 2 6 を介して視認可能な状態となっている。

10

## 【 0 0 6 0 】

サービス提供用シート 2 0 1 が購入された後、図 8 ( b ) に示すように、利用者によってシート部 2 1 0 のうちカード部 2 1 5 がシート部 2 2 0 から剥離されていく。本形態のサービス提供シート 2 0 1 は上述したように、シート部 2 1 0 , 2 2 0 が擬似接着剤 2 4 1 によって剥離可能に貼着されているため、マイクロミシン 2 1 4 を破断していくことによりカード部 2 1 5 をシート部 2 1 0 から分離してシート部 2 2 0 から剥離することができる。なお、カード部 2 1 5 のシート部 2 2 0 との貼着面のうち、少なくとも P I Nコード 2 1 1 や P O Sコード 2 1 2 が表示されていない領域に剥離ニスを塗布しておくことや、カード部 2 1 5 のシート部 2 2 0 との貼着面には擬似接着剤 2 4 1 を塗布しておかない構成とすることも考えられる。

20

## 【 0 0 6 1 】

すると、図 8 ( c ) に示すように、カード部 2 1 5 のシート部 2 2 0 との貼着面に表示された P I Nコード 2 1 1 が視認可能な状態となり、利用者はこの P I Nコード 2 1 1 を携帯端末 7 3 に入力することになる。

## 【 0 0 6 2 】

このように本形態においては、シート部 2 1 0 から分離したカード部 2 1 5 を用いてサービスを利用することになる。

## 【 0 0 6 3 】

( 第 4 の実施の形態 )

図 9 は、本発明のサービス提供用シートの第 4 の実施の形態を示す図であり、( a ) は見開いた状態の表面図、( b ) は見開いた状態の裏面図、( c ) は折り畳んだ状態の表面図、( d ) は折り畳んだ状態の裏面図、( e ) は( d ) に示した A - A ' 断面図である。

30

## 【 0 0 6 4 】

本形態のサービス提供用シート 3 0 1 は図 9 に示すように、第 3 の実施の形態に示したものに対して、シート部 3 1 0 , 3 2 0 の接続方向の長さが互いに等しく、かつ、カード部 3 1 5 が、スリットの一部にタイ部を有する切り離し線 3 1 4 によってシート部 3 1 0 から分離可能に区画形成されている点が異なるものである。

## 【 0 0 6 5 】

上記のように構成されたサービス提供用シート 3 0 1 においても、第 3 の実施の形態に示したものと同様にして使用されることになる。

40

## 【 0 0 6 6 】

( 第 5 の実施の形態 )

図 1 0 は、本発明のサービス提供用シートの第 5 の実施の形態を示す図であり、( a ) は全体を見開いた状態の表面図、( b ) は全体を見開いた状態の裏面図、( c ) は( a ) , ( b ) に示した第 1 のシート部 4 1 0 を折り畳んだ状態の表面図、( d ) は( a ) , ( b ) に示した第 1 のシート部 4 1 0 を折り畳んだ状態の裏面図、( e ) は( d ) に示した A - A ' 断面図、( f ) は全体を折り畳んだ状態の表面図、( g ) は全体を折り畳んだ状態の裏面図、( h ) は( g ) に示した B - B ' 断面図である。

## 【 0 0 6 7 】

本形態のサービス提供用シート 4 0 1 は図 1 0 に示すように、第 3 の実施の形態に示し

50

たものに対して、シート部 4 1 0 が、表面片 4 1 0 a と裏面片 4 1 0 b とが粘着剤 4 4 2 によって貼着された 2 枚構造となっており、カード部 4 1 5 の 4 辺のうち対向する一対の辺のみがマイクロミシン 4 1 4 a , 4 1 4 b となり他の一対の辺がスリット 4 1 7 a , 4 1 7 b となっている点が異なるものである。

【 0 0 6 8 】

表面片 4 1 0 a と裏面片 4 1 0 b とは、折り部 4 1 6 を介して接続しており、折り部 4 1 6 にて折り畳まれた状態にて互いに対向するように、孔部 4 1 3 a , 4 1 3 b 、マイクロミシン 4 1 4 a , 4 1 4 b 及びスリット 4 1 7 a , 4 1 7 b がそれぞれ形成されている。このように構成された表面片 4 1 0 a と裏面片 4 1 0 b とは、P I N コード 4 1 1 及び P O S コード 4 1 2 が表示された面が外側となるように折り部 4 1 6 にて折り畳まれ、粘着剤 4 4 2 によって貼着されてシート部 4 1 0 を構成する。

10

【 0 0 6 9 】

上記のように構成されたサービス提供用シート 4 0 1 においても、第 3 の実施の形態や第 4 の実施の形態にて示したものと同様に使用されることになる。

【 0 0 7 0 】

本形態のサービス提供用シート 4 0 1 は、上述したように、シート部 4 1 0 が、表面片 4 1 0 a と裏面片 4 1 0 b とが粘着剤 4 4 2 によって貼着された 2 枚構造となっているため、表面片 4 1 0 a に形成されたマイクロミシン 4 1 4 a と裏面片 4 1 0 b に形成されたマイクロミシン 4 1 4 b とを破断していくことによりカード部 4 1 5 をシート部 4 1 0 から分離することになる。

20

【 0 0 7 1 】

( 第 6 の実施の形態 )

図 1 1 は、本発明のサービス提供用シートの第 6 の実施の形態を示す図であり、( a ) は全体を見開いた状態の表面図、( b ) は全体を見開いた状態の裏面図、( c ) は ( a ) , ( b ) に示した第 1 のシート部 5 1 0 を折り畳んだ状態の表面図、( d ) は ( a ) , ( b ) に示した第 1 のシート部 5 1 0 を折り畳んだ状態の裏面図、( e ) は ( d ) に示した A - A ' 断面図、( f ) は全体を折り畳んだ状態の表面図、( g ) は全体を折り畳んだ状態の裏面図、( h ) は ( g ) に示した B - B ' 断面図である。

【 0 0 7 2 】

本形態のサービス提供用シート 5 0 1 は図 1 1 に示すように、第 4 の実施の形態に示したものに対して、シート部 5 1 0 が、表面片 5 1 0 a と裏面片 5 1 0 b とが粘着剤 5 4 2 によって貼着された 2 枚構造となっており、カード部 5 1 5 がスリット 5 1 4 a , 5 1 4 b によってシート部 5 1 0 から分離可能に区画形成されており、さらに、シート部 5 2 0 にスリット 5 2 7 が形成され、このスリット 5 2 7 によってラベル部 5 2 8 がシート部 5 2 0 から分離可能に区画形成されている点が異なるものである。

30

【 0 0 7 3 】

表面片 5 1 0 a と裏面片 5 1 0 b とは、折り部 5 1 6 を介して接続しており、折り部 5 1 6 にて折り畳まれた状態にて互いに対向するように、孔部 5 1 3 a , 5 1 3 b 及びスリット 5 1 7 a , 5 1 7 b がそれぞれ形成されている。このように構成された表面片 5 1 0 a と裏面片 5 1 0 b とは、P I N コード 5 1 1 及び P O S コード 5 1 2 が表示された面が外側となるように折り部 5 1 6 にて折り畳まれ、粘着剤 5 4 2 によって貼着されてシート部 5 1 0 を構成する。

40

【 0 0 7 4 】

シート部 5 1 0 とシート部 5 2 0 とは、第 4 の実施の形態に示したものと同様に、P I N コード 5 1 1 及び P O S コード 5 1 2 が表示された面が内側となるように折り部 5 3 0 にて折り畳まれ、擬似接着剤 5 4 1 によって剥離可能に貼着される。この状態においては、P I N コード 5 1 1 がシート部 5 2 0 に覆われて視認不可能となっているとともに、P O S コード 5 1 2 が孔部 5 2 6 を介して視認可能となっている。また、ラベル部 5 2 8 は、サービス提供用シート 5 0 1 の折り畳み状態にて P I N コード 5 1 1 と対向する領域に設けられている。

50

## 【 0 0 7 5 】

上記のように構成されたサービス提供用シート 5 0 1 においても、第 1 の実施の形態にて示したものと同様の環境下で同様にして使用されることになる。

## 【 0 0 7 6 】

図 1 2 は、図 1 1 に示したサービス提供用シート 5 0 1 の使用状態を示す図である。

## 【 0 0 7 7 】

図 1 1 に示したサービス提供用シート 5 0 1 においては、利用者が店舗にて購入した際は、図 1 2 ( a ) に示すように、P I Nコード 5 1 1 がシート部 5 2 0 に覆われて視認不可能な状態となっているとともに、P O Sコード 5 1 2 がシート部 5 2 0 に形成された孔部 5 2 6 を介して視認可能な状態となっている。

10

## 【 0 0 7 8 】

サービス提供用シート 5 0 1 が購入された後、図 1 2 ( b ) に示すように、利用者によってシート部 5 1 0 のうちカード部 5 1 5 がシート部 5 2 0 から剥離されていく。本形態のサービス提供シート 5 0 1 は上述したように、シート部 5 1 0 , 5 2 0 が擬似接着剤 5 4 1 によって剥離可能に貼着されているため、カード部 5 1 5 をスリット 5 1 4 a , 5 1 4 b によってシート部 5 1 0 から分離してシート部 5 2 0 から剥離することができる。

## 【 0 0 7 9 】

この際、図 1 2 ( c ) に示すように、ラベル部 5 2 8 がシート部 5 2 0 から分離し、カード部 5 1 5 に貼着されたままの状態となる。そのため、カード部 5 1 5 をシート部 5 1 0 から分離してシート部 5 2 0 から剥離しただけでは、カード部 5 1 5 のシート部 5 2 0 との貼着面に表示された P I Nコード 5 1 1 はラベル部 5 2 8 によって視認不可能な状態となっている。このように、カード部 5 1 5 をシート部 5 1 0 から分離した際にラベル部 5 2 8 がシート部 5 2 0 から分離し、カード部 5 1 5 に貼着されたままとするためには、例えば、擬似接着剤 5 4 1 によるシート部 1 0 とシート部 2 0 との接着力を、ラベル部 5 2 8 のみにて強くしたり、カード部 5 1 5 のシート部 5 2 0 との貼着面のうちラベル部 5 2 8 以外の領域に剥離ニスを塗布し、カード部 5 1 5 のラベル部 5 2 8 以外の領域のシート部 5 2 0 との接着力をラベル部 5 2 8 のシート部 5 2 0 との接着力よりも弱くしたりする等の構成とすることが考えられる。

20

## 【 0 0 8 0 】

その後、図 1 2 ( d ) に示すように、ラベル部 5 2 8 がカード部 5 1 5 から剥離されると、図 1 2 ( e ) に示すように、カード部 5 1 5 のシート部 5 2 0 との貼着面に表示された P I Nコード 5 1 1 が視認可能な状態となり、利用者はこの P I Nコード 5 1 1 を携帯端末 7 3 に入力することになる。

30

## 【 0 0 8 1 】

このように本形態においては、カード部 5 1 5 がシート部 5 1 0 から分離されてシート部 5 2 0 から剥離されると、ラベル部 5 2 8 がシート部 5 2 0 から分離してカード部 5 1 5 に貼着されたままとなり、その後、ラベル部 5 2 8 がカード部 5 1 5 から剥離されることによって P I Nコード 5 1 1 が視認されることになるため、P I Nコード 5 1 1 を不正に視認した後にカード部 5 1 5 のみをシート部 5 1 0 に嵌め込んだとしてもラベル部 5 2 8 が分離されていることにより、不正の痕跡を残すことができる。また、カード部 5 1 5 がシート部 5 2 0 から剥離されていない状態においてラベル部 5 2 8 のみをシート部 5 2 0 から分離してカード部 5 1 5 から剥離すれば P I Nコード 5 1 1 を不正に視認することができるが、ラベル部 5 2 8 は 1 枚のシート部 5 2 0 に設けられているため、ラベル部 5 2 8 のみをシート部 5 2 0 から分離してカード部 5 1 5 から剥離した後にラベル部 5 2 8 をシート部 5 2 0 に嵌め込んで元の状態に戻すことは困難となる。

40

## 【 0 0 8 2 】

なお、上述した第 3 ~ 第 6 の実施の形態にて示したカード部 2 1 5 , 3 1 5 , 4 1 5 , 5 1 5 は、角部に丸みを帯びた略長方形の形状を有するものであるが、本発明におけるカード部は、角部に丸みを有さない長方形や多角形、円形、楕円形等、シート部から板状となって分離可能に区画形成されているもの全てを含むものとする。

50

## 【 0 0 8 3 】

( 第 7 の実施の形態 )

図 1 3 は、本発明のサービス提供用シートの第 7 の実施の形態を示す図であり、( a ) は表面図、( b ) は裏面図、( c ) は( b ) に示した A - A ' 断面図、( d ) は( b ) に示した B - B ' 断面図、( e ) は裏面側から見た斜視図である。

## 【 0 0 8 4 】

本形態のサービス提供用シート 6 0 1 は図 1 3 に示すように、その外形が同一である上紙 6 1 1、下紙 6 1 2 及び第 2 のシートとなる裏台紙 6 2 0 が互いに貼着され、その一部に表裏貫通した孔部 6 0 3 a が設けられて構成されている。上紙 6 1 1 と下紙 6 1 2 とは粘着剤 6 5 0 によって貼着され、下紙 6 1 2 と裏台紙 6 2 0 とは擬似接着剤 6 4 0 及び剥離ニス 6 3 0 によって剥離可能に貼着されており、上紙 6 1 1 と下紙 6 1 2 とによって第 1 のシートとなる表台紙 6 1 0 が構成されている。

10

## 【 0 0 8 5 】

裏台紙 6 2 0 には、スリット 6 0 5 が形成されており、スリット 6 0 5 に囲まれた領域が剥離片部 6 0 2 として裏台紙 6 2 0 から分離可能に区画形成されている。また、裏台紙 6 2 0 には、表裏貫通した孔部 6 0 3 b が設けられており、下紙 6 1 2 に表示された P O S コード 6 0 4 b が孔部 6 0 3 b から表出して視認可能となっている。

## 【 0 0 8 6 】

以下に、上述した上紙 6 1 1、下紙 6 1 2 及び裏台紙 6 2 0 の詳細な構成、並びに貼着構造について説明する。

20

## 【 0 0 8 7 】

図 1 4 は、図 1 3 に示したサービス提供用シート 6 0 1 の分解図であり、( a ) は上紙 6 1 1 の表面図、( b ) は上紙 6 1 1 の裏面図、( c ) は下紙 6 1 2 の表面図、( d ) は下紙 6 1 2 の裏面図、( e ) は裏台紙 6 2 0 の表面図、( f ) は裏台紙 6 2 0 の裏面図である。

## 【 0 0 8 8 】

上紙 6 1 1 の裏面、すなわち下紙 6 1 2 との貼着面には、図 1 4 ( b ) に示すように、その全面に粘着剤 6 5 0 が塗布されており、また、下紙 6 1 2 の表面、すなわち上紙 6 1 1 との貼着面には、図 1 4 ( c ) に示すように、その全面に粘着剤 6 5 0 が塗布されており、上紙 6 1 1 と下紙 6 1 2 とがこの粘着剤 6 5 0 によって貼着されている。

30

## 【 0 0 8 9 】

下紙 6 1 2 の裏面、すなわち裏台紙 6 2 0 との貼着面には、図 1 4 ( d ) に示すように、第 1 のコードとなる P I N コード 6 0 4 a と、第 2 のコードとなる P O S コード 6 0 4 b とが表示されている。これら P I N コード 6 0 4 a と P O S コード 6 0 4 b とは、上述した実施の形態に示したものと同様に互いに対応づけられたものとなっている。また、下紙 6 1 2 の裏台紙 6 2 0 との貼着面には、P I N コード 6 0 4 a を取り囲むように、一定の幅を有して剥離ニス 6 3 0 が塗布されている。なお、下紙 6 1 2 の裏面に剥離ニス 6 3 0 を塗布した後に P I N コード 6 0 4 a を印字できるように、剥離ニス 6 3 0 に囲まれた領域は少なくとも P I N コード 6 0 4 a を印字する領域よりも広いことが好ましい。

## 【 0 0 9 0 】

40

裏台紙 6 2 0 には、図 1 4 ( e )、( f ) に示すように表裏貫通した孔部 6 0 3 b が設けられている。この孔部 6 0 3 b は、裏台紙 6 2 0 が下紙 6 1 2 と貼着された場合に P O S コード 6 0 4 b と対向する領域に設けられている。また、裏台紙 6 2 0 には、裏台紙 6 2 0 が下紙 6 1 2 と貼着された場合に P I N コード 6 0 4 a と対向する領域に剥離片部 6 0 2 がスリット 6 0 5 によって裏台紙 6 2 0 から分離可能に区画形成されている。また、裏台紙 6 2 0 の下紙 6 1 2 との貼着面には、下紙 6 1 2 の剥離ニス 6 3 0 に囲まれた領域に対向する領域を除く全面に擬似接着剤 6 4 0 が塗布されている。スリット 6 0 2 は、剥離ニス 6 3 0 に対向するように形成されており、それにより、裏台紙 6 2 0 から分離可能に区画形成された剥離片部 6 0 2 は、その一部のみにて剥離ニス 6 3 0 及び擬似接着剤 6 4 0 によって下紙 6 1 2 に剥離可能に貼着されており、裏台紙 6 2 0 から分離することで

50

下紙 6 1 2 から剥離されることになる。

【 0 0 9 1 】

以下に、上記のように構成されたサービス提供用シート 6 0 1 の製造方法について説明する。

【 0 0 9 2 】

図 1 5 は、図 1 3 及び図 1 4 に示したサービス提供用シート 6 0 1 の製造方法を説明するための図である。

【 0 0 9 3 】

図 1 3 及び図 1 4 に示したサービス提供用シート 6 0 1 は、図 1 5 に示すように、上紙 6 1 1 と下紙 6 1 2 と裏台紙 6 2 0 とがそれぞれ連続状となって供給され、互いに貼着された後に単片状に断裁されることによって製造される。

10

【 0 0 9 4 】

上紙 6 1 1、下紙 6 1 2 及び裏台紙 6 2 0 のそれぞれは、図 1 5 に示すように、連続状となってローラ 6 6 0 a ~ 6 6 0 c から引き出され、P I Nコード 6 0 4 a や P O Sコード 6 0 4 b 等が印字され、また、上紙 6 1 1 においては下紙 6 1 2 との貼着面に粘着剤 6 5 0 が塗布され、下紙 6 1 2 においては、上紙 6 1 1 との貼着面に粘着剤 6 5 0 が塗布されるとともに、裏台紙 6 2 0 との貼着面に剥離ニス 6 3 0 が塗布され、裏台紙 6 2 0 においては下紙 6 1 2 との貼着面に擬似接着剤 6 4 0 が塗布され、一對のローラ 6 6 1 a , 6 6 1 b が対向する領域に搬送されていく。

【 0 0 9 5 】

20

この際、P I Nコード 6 0 4 a と P O Sコード 6 0 4 b とは、互いに対応づけられたものであるが、共に下紙 6 1 2 の裏台紙 6 2 0 との貼着面に同時に印字されるため、これらのマッチングミス回避することができる。

【 0 0 9 6 】

上紙 6 1 1、下紙 6 1 2 及び裏台紙 6 2 0 のそれぞれが、一對のローラ 6 6 1 a , 6 6 1 b が対向する領域に搬送されると、これら上紙 6 1 1、下紙 6 1 2 及び裏台紙 6 2 0 がローラ 6 6 1 a , 6 6 1 b によって挟まれながら搬送されることにより、互いに貼着される。

【 0 0 9 7 】

その後、断裁部 6 6 2 において、互いに貼着された連続状の上紙 6 1 1、下紙 6 1 2 及び裏台紙 6 2 0 が単片状に断裁される。この際、孔部 6 0 3 a , 6 0 3 b 及びスリット 6 0 5 も同時に形成されることになる。

30

【 0 0 9 8 】

単片状に断裁されたサービス提供用シート 6 0 1 は、表台紙 6 1 0 と裏台紙 6 2 0 とが、その外形が同一であり、P O Sコード 6 0 4 b を視認可能とする構成が、裏台紙 6 2 0 に設けられた孔部 6 0 3 b であるため、全体の平坦性が損なわれることがない。そのため、例えば、単片状に断裁された状態で積み重ねて保管された場合においても、不安定となることがなく保管しやすい。また、積み重ねて保管しない場合においても、搬送等の際に、P I Nコード 6 0 4 a を視認不可能としておくための隠蔽ラベル等が手等に引っかかって捲れ上がってしまうことがない。なお、上述したように平坦性を確保するためには、単片状に断裁されたサービス提供用シート 6 0 1 の表台紙 6 1 0 と裏台紙 6 2 0 との外形を完全に同一にしなくても、若干異なる場合も含む略同一とすればよい。

40

【 0 0 9 9 】

上記のように構成されたサービス提供用シート 6 0 1 においても、第 1 の実施の形態にて示したものと同様の環境下で同様にして使用されることになる。

【 0 1 0 0 】

図 1 6 は、図 1 3 及び図 1 4 に示したサービス提供用シート 6 0 1 の使用状態を示す図である。

【 0 1 0 1 】

図 1 3 及び図 1 4 に示したサービス提供用シート 6 0 1 においても、利用者が購入する

50

際、裏台紙 6 2 0 の孔部 6 0 3 b から視認可能となった P O S コード 6 0 4 b が読み取られることにより、サービスの利用が可能となる。この際、表台紙 6 1 0 が上紙 6 1 1 と下紙 6 1 2 との 2 枚のシートが貼着されて構成されていることによって 2 枚のシート分の厚さを有しているため、シートとしての腰が強くなり、サービス提供用シート 6 0 1 が撓んで P O S コード 6 0 4 b が読み取りにくくなることが回避される。

#### 【 0 1 0 2 】

そして、サービス提供用シート 6 0 1 を購入した利用者が、図 1 6 ( a ) に示すように、剥離片部 6 0 2 を裏台紙 6 2 0 から分離していくことにより、剥離片部 6 0 2 が下紙 6 1 2 から剥離されていく。図 1 3 及び図 1 4 に示したサービス提供用シート 6 0 1 においては、剥離片部 6 0 2 がスリット 6 0 5 によって裏台紙 6 2 0 から分離可能に区画形成されているとともに、剥離ニス 6 3 0 及び擬似接着剤 6 4 0 によって下紙 6 1 2 から剥離可能となっているため、サービス提供用シート 6 0 1 を購入した利用者は、剥離片部 6 0 2 を裏台紙 6 2 0 から分離していくことで下紙 6 1 2 から剥離することができる。

10

#### 【 0 1 0 3 】

その後、剥離片部 6 0 2 が下紙 6 1 2 から完全に剥離されると、図 1 6 ( b ) に示すように、裏台紙 6 2 0 の剥離片部 6 0 2 が区画形成されていた領域に開口部 6 0 6 が生じ、下紙 6 1 2 の剥離片部 6 0 2 に対向する領域に表示された P I N コード 6 0 4 a がこの開口部 6 0 6 を介して視認可能な状態となり、利用者は、視認可能となった P I N コード 6 0 4 a を携帯端末 7 3 に入力してサービス提供サーバ 7 2 に送信することにより、サービス提供サーバ 7 2 から提供されるサービスを利用することになる。

20

#### 【 0 1 0 4 】

このように、サービス提供用シート 6 0 1 を購入した利用者は、剥離片部 6 0 2 を裏台紙 6 2 0 から分離していき下紙 6 1 2 から剥離することによって視認可能となった P I N コード 6 0 4 a を用いてサービスを利用することができる。

#### 【 0 1 0 5 】

( 第 8 の実施の形態 )

図 1 7 は、本発明のサービス提供用シートの第 8 の実施の形態を示す図であり、( a ) は表面図、( b ) は裏面図、( c ) は ( b ) に示した A - A ' 断面図、( d ) は ( b ) に示した B - B ' 断面図、( e ) は裏面側から見た斜視図である。また、図 1 8 は、図 1 7 に示したサービス提供用シート 7 0 1 の分解図であり、( a ) は上紙 7 1 1 の表面図、( b ) は上紙 7 1 1 の裏面図、( c ) は下紙 7 1 2 の表面図、( d ) は下紙 7 1 2 の裏面図、( e ) は裏台紙 7 2 0 の表面図、( f ) は裏台紙 7 2 0 の裏面図である。

30

#### 【 0 1 0 6 】

本形態のサービス提供用シート 7 0 1 は図 1 7 及び図 1 8 に示すように、第 7 の実施の形態に示したものに対して、P O S コード 7 0 4 b 及びそれに対向する孔部 7 0 3 b の位置と P I N コード 7 0 4 a 及びそれに対向する剥離片部 7 0 2 の位置とが入れ替わるとともに、剥離片部 7 0 2 の構成が異なるものである。

#### 【 0 1 0 7 】

本形態における剥離片部 7 0 2 は、第 7 の実施の形態に示したスリット 6 0 5 の代わりに、マイクロミシン 7 0 5 a とジッパー部 7 0 5 b とミシン目 7 0 5 c とからなる切り離し線 7 0 5 によって裏台紙 7 2 0 から分離可能に区画形成されている。マイクロミシン 7 0 5 a は半円状のものであり、この半円状の両端部に 2 本のジッパー部 7 0 5 b が連続している。2 本のジッパー部 7 0 5 b は、略へんの字を構成する切り込みが、マイクロミシン 7 0 5 a の両端部から半円の接線方向に互いに並行するように複数配列して構成されている。ジッパー部 7 0 5 b を構成する複数の切り込みのそれぞれは、略へんの字の短辺がマイクロミシン 7 0 5 a 側となって 2 本のジッパー部 7 0 5 b 間の方向に斜めに延び、また、略へんの字の長辺が、複数の切り込みの配列方向に延びて構成されている。ミシン目 7 0 5 c は、ジッパー部 7 0 5 b のマイクロミシン 7 0 5 a とは反対側の端部に、2 本のジッパー部 7 0 5 b を繋ぐように設けられている。

40

#### 【 0 1 0 8 】

50

上記のように構成されたサービス提供用シート701においても、第1の実施の形態にて示したものと同様の環境下で同様にして使用されることになる。

【0109】

図19は、図17及び図18に示したサービス提供用シート701の使用状態を示す図である。

【0110】

図17及び図18に示したサービス提供用シート701においても、利用者が購入する際、裏台紙720の孔部703bから視認可能となったPOSコード704bが読み取られることにより、サービスの利用が可能となる。この際、表台紙710が上紙711と下紙712との2枚のシートが貼着されて構成されていることによって2枚のシート分の厚さを有しているため、シートとしての腰が強くなり、サービス提供用シート701が撓んでPOSコード704bが読み取りにくくなることが回避される。

【0111】

そして、サービス提供用シート701を購入した利用者が、図19(a)に示すように、剥離片部702のマイクロミシン705a側の端部を剥離開始端とし、マイクロミシン705a及びジッパー部705bを破断していくことにより、剥離片部702が下紙712から剥離されていく。図17及び図18に示したサービス提供用シート701においては、剥離片部702が、マイクロミシン705a、ジッパー部705b及びミシン目705cからなる切り離し線705によって裏台紙720から分離可能に区画形成されているとともに、剥離ニス730及び擬似接着剤740によって下紙712から剥離可能となっているため、サービス提供用シート701を購入した利用者は、マイクロミシン705a及びジッパー部705bを破断していくことで剥離片部702を下紙712から剥離することができる。ここで、2本のジッパー部705bを破断していく際、裏台紙720が破断しようとする力は、ジッパー部705bを構成する複数の切り込みそれぞれのミシン目705c側の端部から2本のジッパー部705b間の方向に斜めに向かう。ところが、ジッパー部705bを構成する略へ字の切り込みの短辺がマイクロミシン705a側となって2本のジッパー部705b間の方向に斜めに延びているため、切り込みのミシン目705c側の端部から裏台紙720が破断していく方向には、その切り込みのミシン目705c側に隣接する切り込みの短辺が存在することになり、それにより複数の切り込みが繋がってジッパー部705bが破断していく。

【0112】

このようにしてマイクロミシン705a及びジッパー部705bが完全に破断されると、図19(b)に示すように、剥離片部702を下紙712から剥離して捲り上げることができる。すると、下紙712の剥離片部702に対向する領域に表示されたPINコード704aが視認可能な状態となり、利用者は、視認可能となったPINコード704aを携帯端末73に入力してサービス提供サーバ72に送信することにより、サービス提供サーバ72から提供されるサービスを利用することになる。

【0113】

このように、サービス提供用シート701を購入した利用者は、マイクロミシン705a及びジッパー部705bを破断していき剥離片部702を下紙712から剥離することによって視認可能となったPINコード704aを用いてサービスを利用することができる。

【0114】

なお、ミシン目705cを破断しなくても、上述したように剥離片部702を捲り上げることによりPINコード704aを視認可能な状態とすることができるが、ミシン目705cを破断して剥離片部702を裏台紙720から完全に分離してもよい。

【0115】

(第9の実施の形態)

図20は、本発明のサービス提供用シートの第9の実施の形態を示す図であり、(a)は表面図、(b)は裏面図、(c)は(b)に示したA-A'断面図、(d)は(b)に

10

20

30

40

50



示したB - B'断面図、(e)は裏面側から見た斜視図である。また、図21は、図20に示したサービス提供用シート801の分解図であり、(a)は上紙811の表面図、(b)は上紙811の裏面図、(c)は下紙812の表面図、(d)は下紙812の裏面図、(e)は裏台紙820の表面図、(f)は裏台紙820の裏面図である。

【0116】

本形態のサービス提供用シート801は図20及び図21に示すように、第7の実施の形態に示したものに対して、POSコード804b及びそれに対向する孔部803bの位置とPINコード804a及びそれに対向する剥離片部802の位置とが入れ替わるとともに、剥離片部802の構成が異なるものである。

【0117】

本形態における剥離片部802は、第7の実施の形態に示したスリット605の代わりに、2組のマイクロミシン805a、805cとジッパー部805bとミシン目805dとからなる切り離し線805によって裏台紙820から分離可能に区画形成されている。1組のマイクロミシン805aは、裏台紙820の1つの端部から、裏台紙820のこの端部に対向する端部に向かって互いに並行して延び、その端部に2本のジッパー部805bがそれぞれ連続している。2本のジッパー部805bは、略への字を構成する切り込みが、マイクロミシン805aの端部からマイクロミシン805aとは反対側に向かうにつれて互いの間隔が広がっていくように複数配列して構成されている。ジッパー部805bを構成する複数の切り込みのそれぞれは、略への字の短辺がマイクロミシン805a側となって2本のジッパー部805b間の方向に斜めに延び、また、略への字の長辺が、複数の切り込みの配列方向に延びて構成されている。2本のジッパー部805bのマイクロミシン805aとは反対側の端部には、1組のマイクロミシン805cがそれぞれ連続している。1組のマイクロミシン805cは、ジッパー部805cの端部から、裏台紙820のマイクロミシン805aが向かった端部に向かって互いに並行して延び、その端部に、2本のマイクロミシン805cを繋ぐようにミシン目805dが設けられている。

【0118】

上記のように構成されたサービス提供用シート801においても、第1の実施の形態にて示したものと同様の環境下で同様に使用されることになる。

【0119】

図22は、図20及び図21に示したサービス提供用シート801の使用状態を示す図である。

【0120】

図20及び図21に示したサービス提供用シート801においても、利用者が購入する際、裏台紙820の孔部803bから視認可能となったPOSコード804bが読み取られることにより、サービスの利用が可能となる。この際、表台紙810が上紙811と下紙812との2枚のシートが貼着されて構成されていることによって2枚のシート分の厚さを有しているため、シートとしての腰が強くなり、サービス提供用シート801が撓んでPOSコード804bが読み取りにくくなることが回避される。

【0121】

そして、サービス提供用シート801を購入した利用者が、図22(a)に示すように、剥離片部802のマイクロミシン805a側の端部を剥離開始端とし、マイクロミシン805a、805c及びジッパー部805bを破断していくことにより、剥離片部802が下紙812から剥離されていく。図20及び図21に示したサービス提供用シート801においては、剥離片部802が、マイクロミシン805a、805c、ジッパー部805b及びミシン目805dからなる切り離し線805によって裏台紙820から分離可能に区画形成されているとともに、剥離ニス830及び擬似接着剤840によって下紙812から剥離可能となっているため、サービス提供用シート801を購入した利用者は、マイクロミシン805a、805c及びジッパー部805bを破断していくことで剥離片部802を下紙812から剥離することができる。またこの際、剥離片部802のマイクロミシン805a側の端部においては、図20(e)に示したように、下紙812に貼着さ

10

20

30

40

50

れていない部分がサービス提供用シート 801 の端辺に存在するため、剥離片部 802 のマイクロミシン 805 a 側の端部を容易に摘み上げることができる。ここで、2 本のジッパー部 805 b を破断していく際、裏台紙 820 が破断しようとする力は、ジッパー部 805 b を構成する複数の切り込みそれぞれのマイクロミシン 805 c 側の端部から 2 本のジッパー部 805 b 間の方向に斜めに向かう。ところが、ジッパー部 805 b を構成する略へ字の切り込みの短辺がマイクロミシン 805 a 側となって 2 本のジッパー部 805 b 間の方向に斜めに延びているため、切り込みのマイクロミシン 805 c 側の端部から裏台紙 820 が破断していく方向には、その切り込みのマイクロミシン 805 c 側に隣接する切り込みの短辺が存在することになり、それにより複数の切り込みが繋がってジッパー部 805 b が破断していく。

10

#### 【0122】

このようにしてマイクロミシン 805 a, 805 c 及びジッパー部 805 b が完全に破断されると、図 22 (b) に示すように、剥離片部 802 を下紙 812 から剥離して捲り上げることができる。すると、下紙 812 の剥離片部 802 に対向する領域に表示された P I Nコード 804 a が視認可能な状態となり、利用者は、視認可能となった P I Nコード 804 a を携帯端末 73 に入力してサービス提供サーバ 72 に送信することにより、サービス提供サーバ 72 から提供されるサービスを利用することになる。

#### 【0123】

このように、サービス提供用シート 801 を購入した利用者は、マイクロミシン 805 a, 805 c 及びジッパー部 805 b を破断していき剥離片部 802 を下紙 812 から剥離することによって視認可能となった P I Nコード 804 a を用いてサービスを利用することができる。

20

#### 【0124】

なお、ミシン目 805 d を破断しなくても、上述したように剥離片部 802 を捲り上げることにより P I Nコード 804 a を視認可能な状態とすることができるが、ミシン目 805 d を破断して剥離片部 802 を裏台紙 820 から完全に分離してもよい。

#### 【符号の説明】

#### 【0125】

1, 101, 201, 301, 401, 501, 601, 701, 801 サービス提供用シート

30

10, 20, 110, 120, 220, 310, 320, 410, 420, 510, 520 シート部

11, 111, 211, 311, 411, 511, 604 a, 704 a, 804 a P I Nコード

12, 112, 212, 312, 412, 512, 604 b, 704 b, 804 b P O Sコード

13, 113, 126, 213, 226, 313, 326, 413 a, 413 b, 426, 513 a ~ 513 c, 526, 603 a, 603 b, 703 a, 703 b, 803 a, 803 b 孔部

21, 121 切り欠き

40

22, 122 指示情報

30, 130, 230, 330, 416, 430, 516, 530 折り部

41, 141, 241, 341, 441, 541, 640, 740, 840 擬似接着剤

71 P O S 端末

72 サービス提供サーバ

73 携帯端末

74 通信回線

123, 124 被覆部

125, 214, 414 a, 414 b, 705 a, 805 a, 805 c マイクロミ

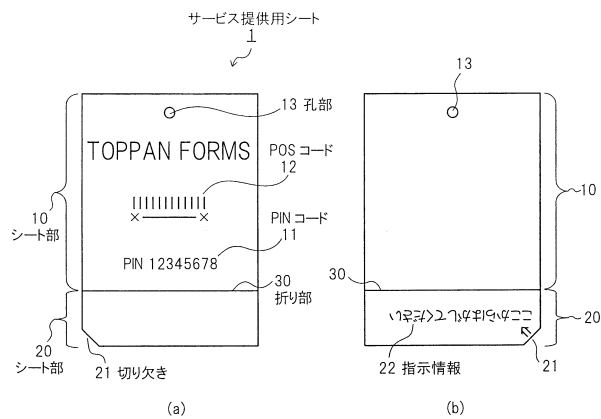
50

シン

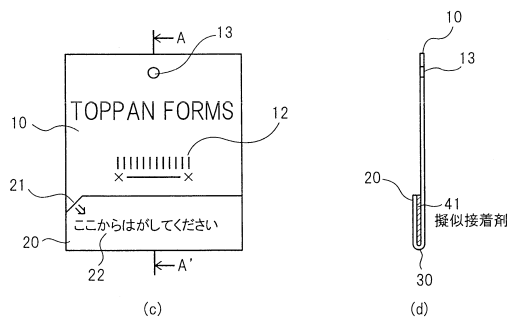
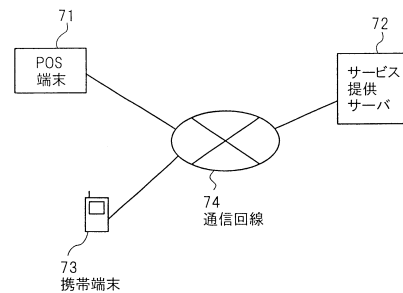
1 4 2 , 4 4 2 , 5 4 2 , 6 5 0 , 7 5 0 , 8 5 0      粘着剤  
 2 1 5 , 3 1 5 , 4 1 5 , 5 1 5      カード部  
 3 1 4 , 7 0 5 , 8 0 5      切り離し線  
 4 1 0 a , 5 1 0 a      表面片  
 4 1 0 b , 5 1 0 b      裏面片  
 4 1 7 a , 4 1 7 b , 5 1 7 a , 5 1 7 b , 6 0 5      スリット  
 5 1 8      ラベル部  
 6 0 2 , 7 0 2 , 8 0 2      剥離片部  
 6 0 6      開口部  
 6 1 0 , 7 1 0 , 8 1 0      表台紙  
 6 1 1 , 7 1 1 , 8 1 1      上紙  
 6 1 2 , 7 1 2 , 8 1 2      下紙  
 6 2 0 , 7 2 0 , 8 2 0      裏台紙  
 6 3 0 , 7 3 0 , 8 3 0      剥離ニス  
 6 6 0 a ~ 6 6 0 c , 6 6 1 a , 6 6 1 b      ロール  
 6 6 2      断裁部  
 7 0 5 b , 8 0 5 b      ジッパー部  
 7 0 5 c , 8 0 5 d      ミシン目

10

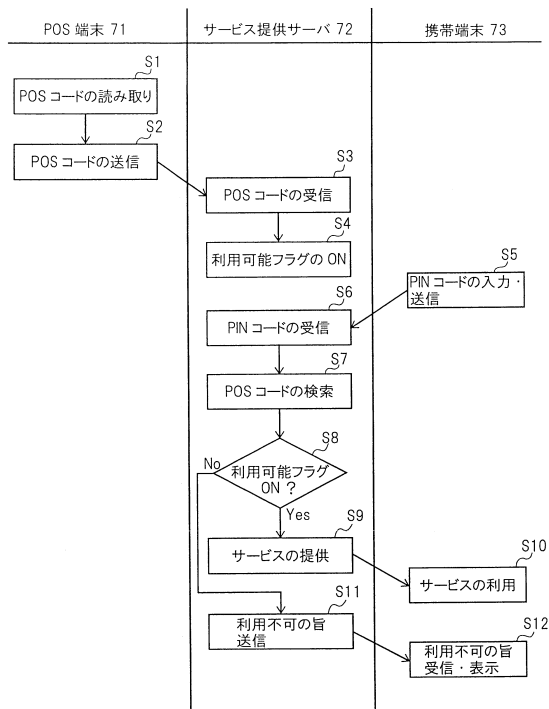
【図 1】



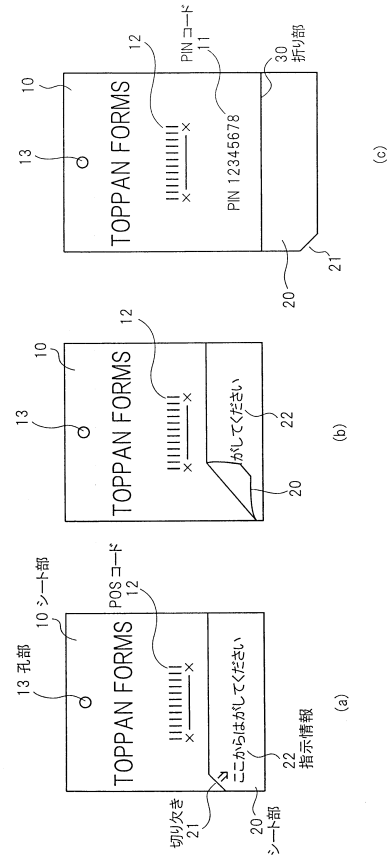
【図 2】



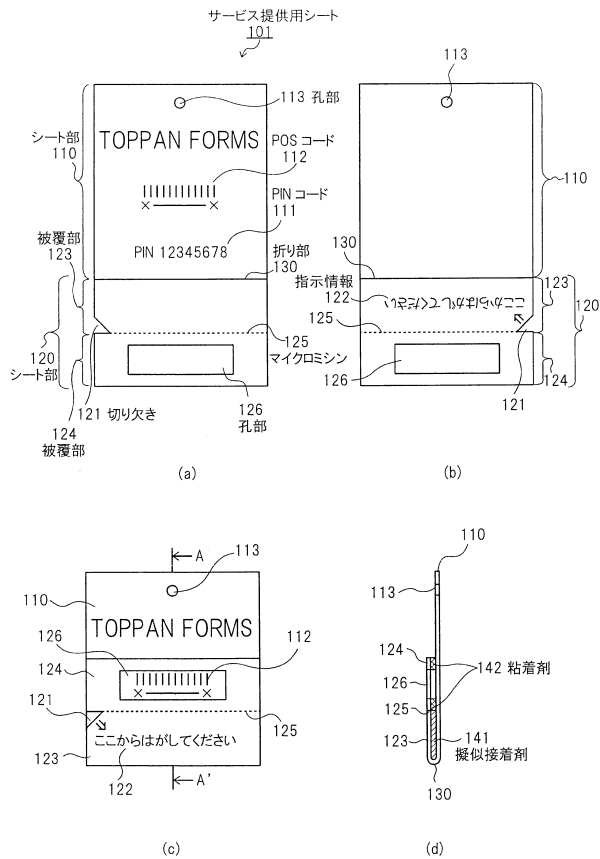
【図 3】



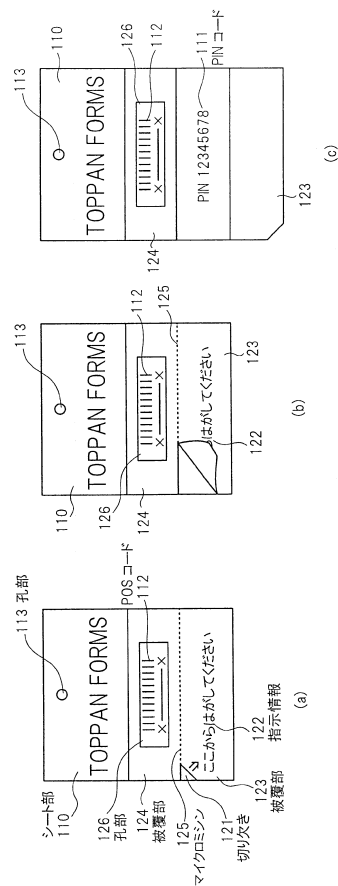
【図 4】



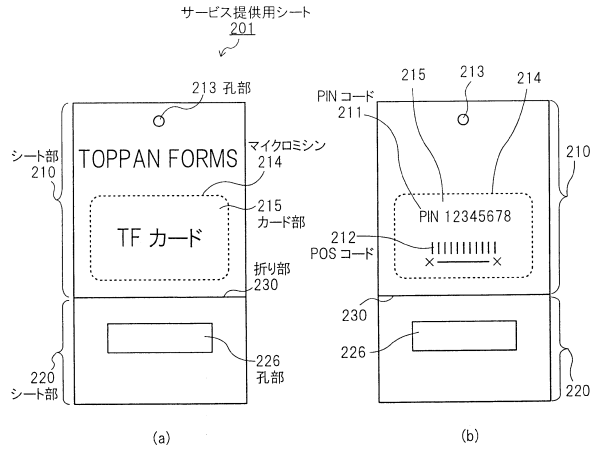
【図 5】



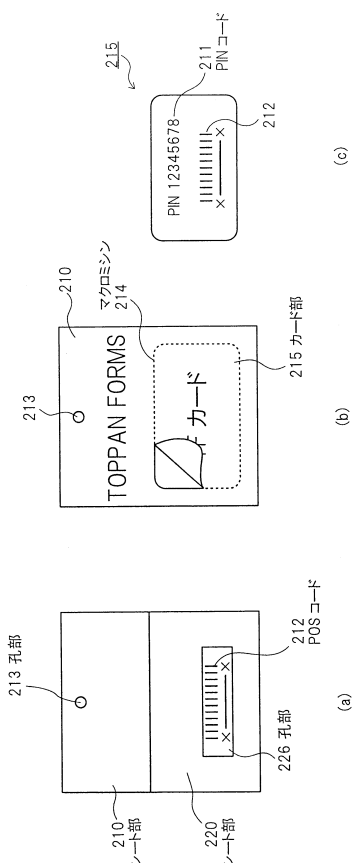
【図 6】



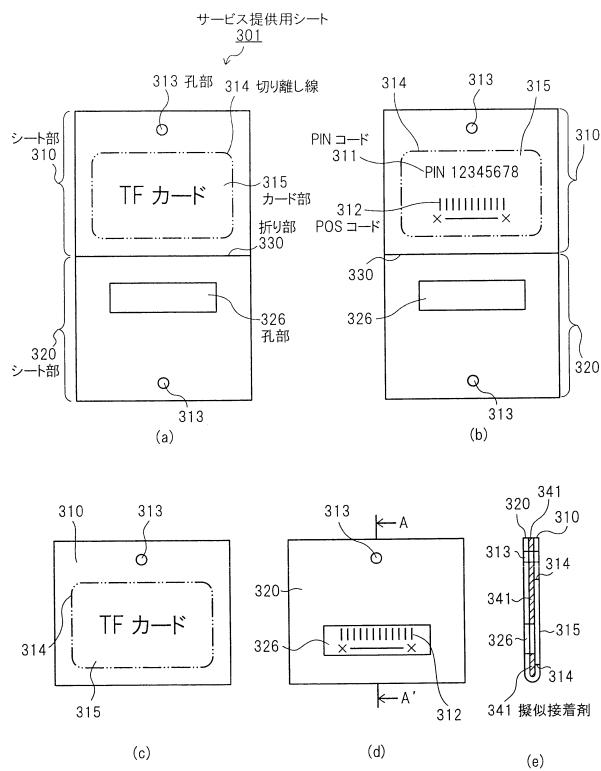
【図 7】



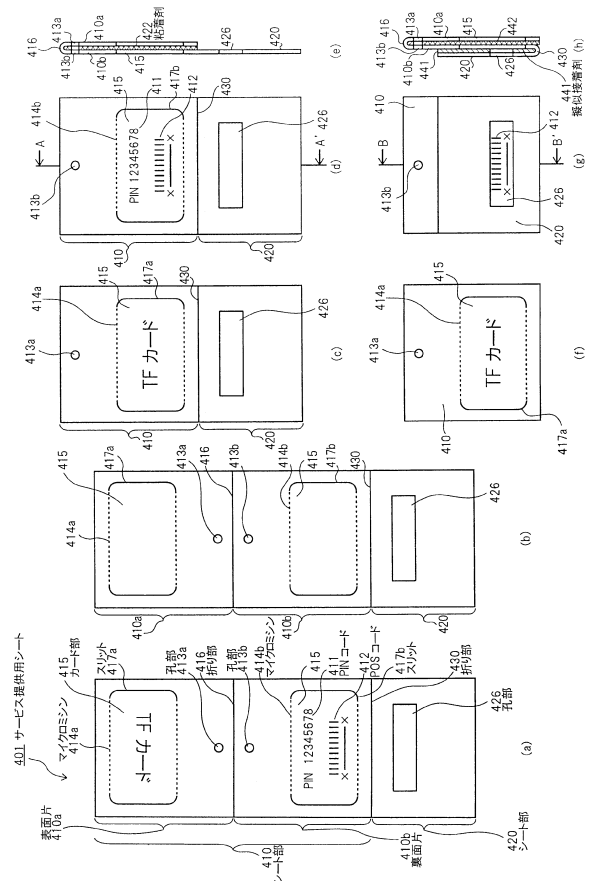
【図 8】



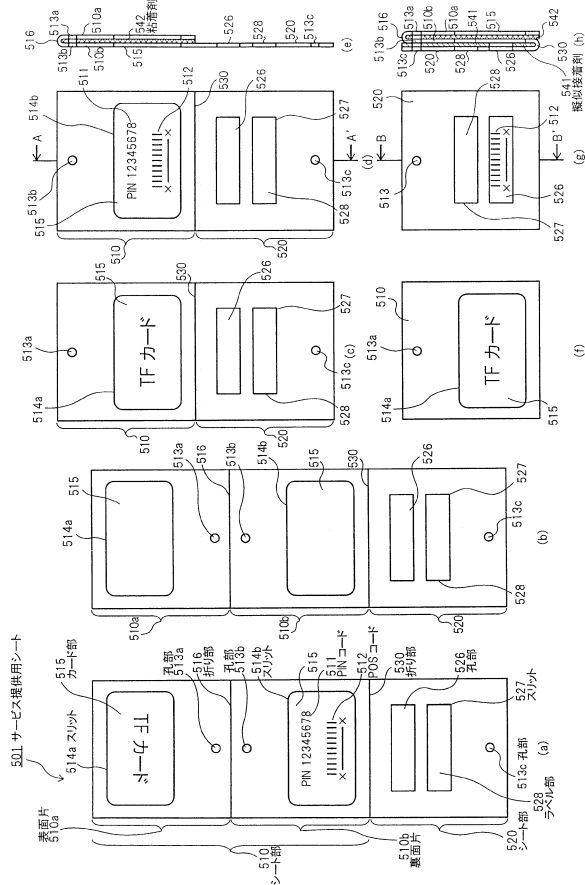
【図 9】



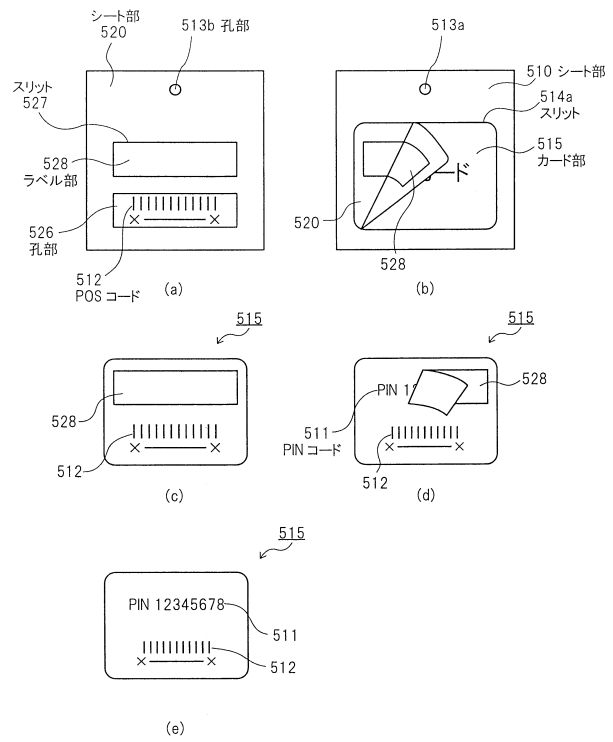
【図 10】



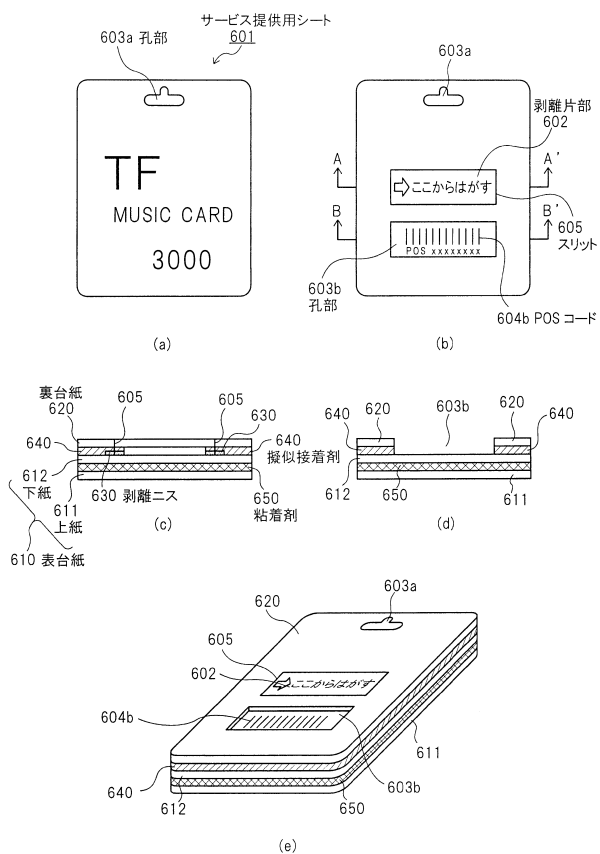
【図 11】



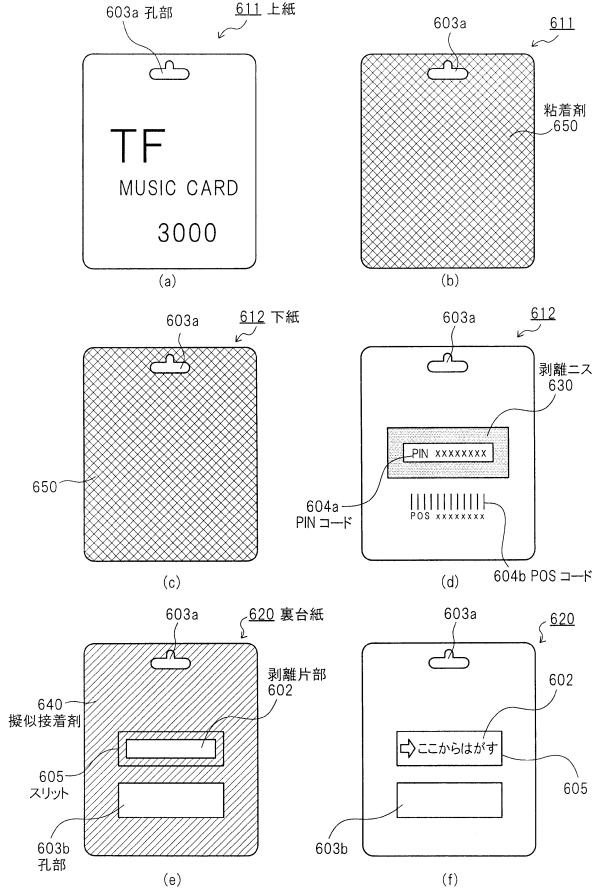
【図 12】



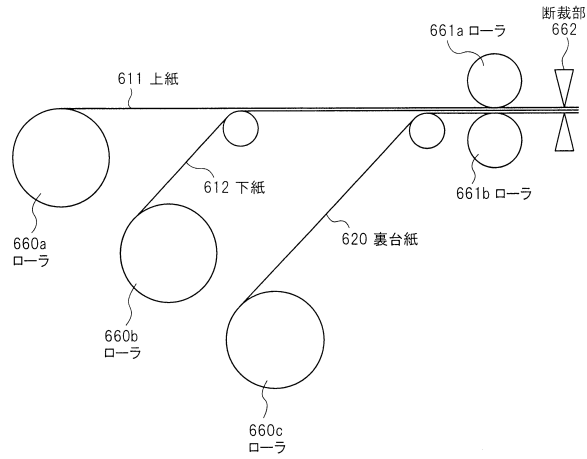
【図 13】



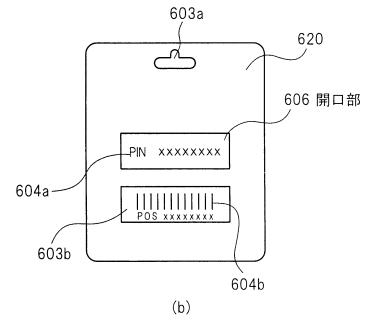
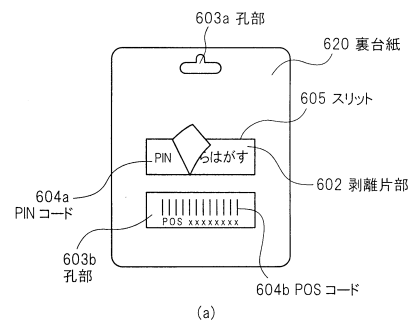
【図 14】



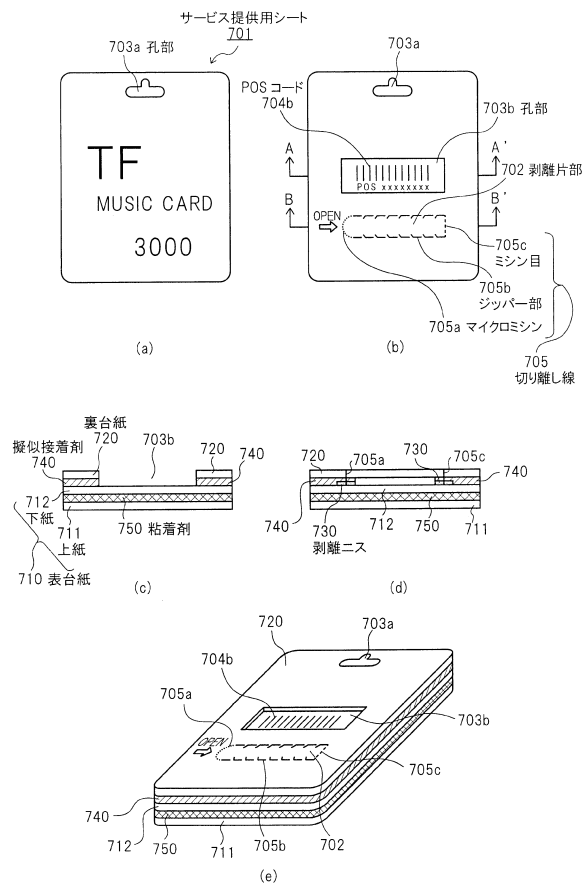
【図 15】



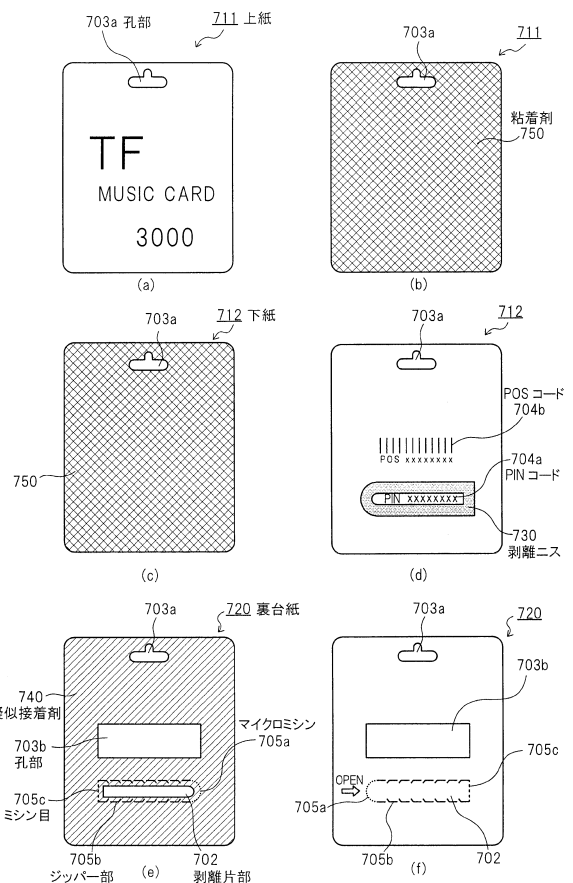
【図 16】



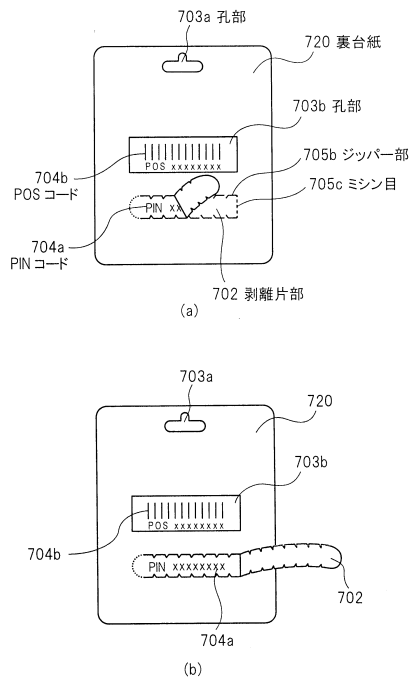
【図 17】



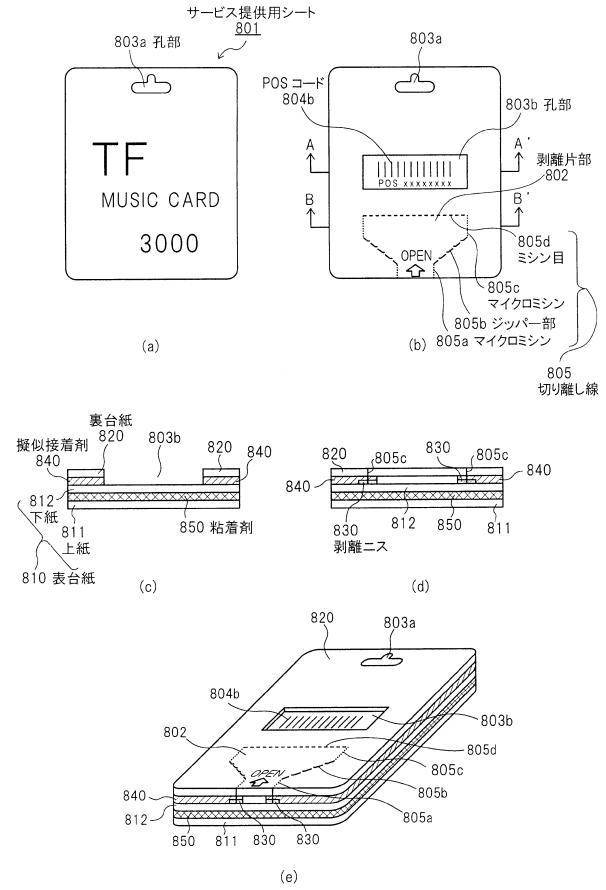
【図 18】



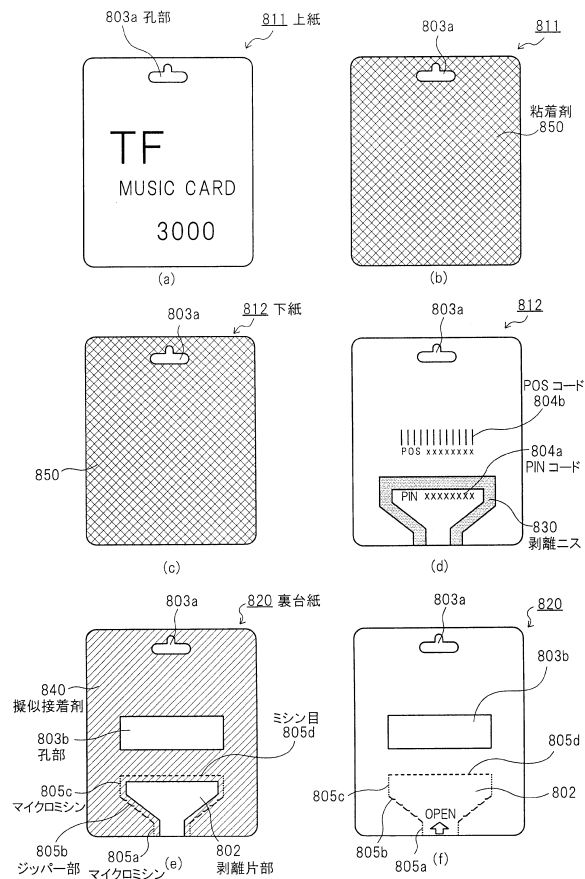
【図 19】



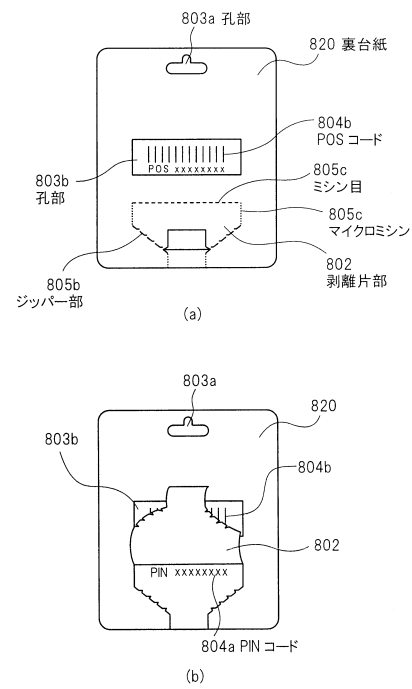
【図 20】



【図 21】



【図 22】





---

フロントページの続き

(56)参考文献 特開2010-082949(JP,A)  
特開2010-280161(JP,A)  
特開平11-105465(JP,A)  
米国特許出願公開第2001/0022446(US,A1)

(58)調査した分野(Int.Cl., DB名)

B42D	1/00 - 25/485
G06F	19/00
G06K	19/00 - 19/18
G06Q	10/00 - 10/10
G06Q	30/00 - 30/08
G06Q	50/00 - 50/20
G06Q	50/26 - 99/00